

# 令和6年度 社会生活 シラバス

<b>科目</b>	社会生活	<b>単位数</b>	1 単位
		<b>対象部・年次</b>	1・2・3部 2・3年次(4卒)

**目標** 将来の自分の仕事を考えた時、夢ややりたいことだけでは社会に出て通用しない。まず、「自分のことを知る」ことが必要である。いくつかの要素の集まりとして、自分をわかることがこれからの自分の生き方に繋がる広い視野が資質となり、行動や態度を身に付け、現場実習に向ける資質や能力を育てる。

## ■身につける資質・能力と、到達レベル

評価の観点		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<b>趣旨</b>		「社会に出ていく」ためにまた、「仕事」につくための基本的な生活習慣とスキルの確立。様々な仕事を知り、情報を集める。	職業選択に結びついた自己理解をする。「自分にできること、苦手なこと」を把握させる。	職場体験を通じて職業に対する理解や難しさを知り、できなかったことが体験することでそうでなかった等苦しいことを乗り越えて我慢する力を身に付ける。
<b>評価規準〔到達度〕</b>	<b>習得</b>	働くことへの理解や知識の習得に努めている。	自他の課題を発見する努力をしている。	体験実習で、指示されることが理解でき活動することができる。 体験実習の事前・事後指導を理解し、準備や振り返りができる。
<b>北高力</b>		①基礎力 ②情報処理力 ③試行力	④問題解決力 ⑤発見力 ⑥創造力	⑦人間関係形成力 ⑧実践力 ⑨自律的活動力
<b>評価方法</b>		ワークシートの作成状況	ワークシートの作成状況	授業への参加を評価する。授業への取り組む姿勢を評価する。実習での取り組みを評価する。

## ■学習計画

	学習内容	授業の展開方法	使用教材
<b>前期</b>	「自己理解」を深める。 仕事を知る。 生活習慣の確立 就労に向けての心構え	生徒の実態に合わせ指導する。 体験実習に向けての事前指導を行う。	自作プリント iPad
<b>後期</b>			

## ■どのように評価されるか、学習のアドバイス

体験実習に向けての準備・実習に必要な考え方や、知識を身に付け、社会に通用する態度を養う。健康に留意し、実習を欠席しないようにする。そのためにも、学校欠席や遅刻等、時間厳守を徹底する。